

## 第4回 平成25年伊豆大島土砂災害第三者調査委員会 議事概要

日 時：平成28年1月20日（水）10時00分～12時30分

場 所：(株)社会安全研究所 会議室

出席者：田中委員長、岩田委員、黒田委員、鈴木委員、松尾委員  
事務局（4名）

概 要：

### 1. これまでの情報収集で得られた事実等について 〈資料1-1、1-2〉

事務局より資料1-1、1-2を説明した上で、質疑応答・討議を行った。主な発言要旨は、以下のとおり。

- 発災前後の時系列（資料1-2）には、大島支庁の対応も追加して記載すべき。
- 災害当時の法令・計画に定められていた、土砂災害警戒情報発表時における気象庁、東京都の対応事項等については、再確認する必要がある。
- 発災前後における雨域、雨量、台風の経路・位置がわかるレーダー画像等の資料を整理する必要がある。
- 土砂災害の発生時刻は地震計の記録等から推測できると考えられる。これを踏まえて、神達や元町地区各所で起きた被害とその時刻についての事実関係を確認していきたい。
- 発災前後の時系列（資料1-2）において、対応の主体や対象が明確でない情報がいくつか見受けられるが、できるだけ正確に記載したい。

### 2. 分析の方向性について 〈資料2-1、2-2〉

事務局より資料2-1、2-2を説明した上で、質疑応答・討議を行った。主な発言要旨は、以下のとおり。

- 今後、本調査委員会では、これまでの情報収集で得られた事実をもとに、“どのようにすれば、被害を軽減することができたか”という視点で分析を進めていきたい。資料2-1「被害軽減につながった可能性がある理想型（事務局素案）」には、実際には対応困難だったと思われる項目も多いが、それらは今後改善すべき点として指摘したい。
- 資料2-1を踏まえ、今後、今回のような土砂災害による被害を出さないために、これから町・都・その他関係機関・住民それぞれの主体が取るべき対応（平時・災害時とも）を考えていきたい。
- 町全体の防災を考えると、雨以外に地震・津波・火山噴火等に伴う土砂災害への備えも必要であり、今回の土砂災害の課題だけを改善するのでは十分でない。い

ずれにしても、「町が迅速に災害対策本部を設置すること」「住民への的確に情報を伝達すること」の重要性は、共通項として挙げるができる。

以上